

**学校名** 滑川町立滑川中学校  
**所在地** 比企郡滑川町大字福田700番地  
**電話** 0493-56-2239

## 1 本校の概要

本校は全校生徒 585 名(R4.1.11 現在)、学級数 21 (特支5学級含む) である。「笑顔と幸せがあふれる滑川中学校」を目指し、「学び考える生徒、思いやりのある生徒、すすんで心身を鍛える生徒」の育成を目指して教育活動を行っている。

## 2 本校の実践

### (1) 実践の視点

- ・読書に親しむ態度や読書習慣に係る取組
- ・家庭や地域との連携し、全校を挙げた取組

### (2) 実践の概要

滑川町では、令和3年3月、「滑川町子ども読書活動推進計画」を策定し、不読率を半減させることを数値目標とし、読書環境の整備や読書活動の習慣化に向けた活動を促進している。これを受けて、本校でも、生徒が読書を好きになるきっかけとなる本に出会い、読書に親しめるよう、次のような取組を行っている。

#### ア 朝の読書

今年度から、8:25~8:35の10分間を毎日、読書の時間としている。

#### イ 学級文庫の設置

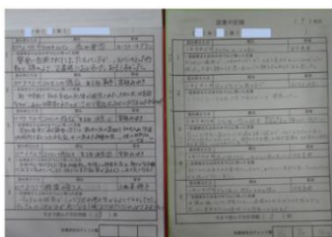
学校図書館の本を学級文庫として各クラスに設置し、様々な本に触れられるようにしている。

#### ウ 「読書の記録」

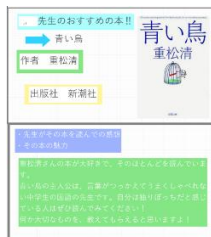
生徒は一人1枚カードを作り、読んだ本の題名・著者名・一言感想(又は心に残った言葉)を記入する。図書委員会の集まりがある日にカードを回収し、読書量を調査したり表彰を行ったりしている。

#### エ 教職員からの「おすすめの本」の紹介

全ての教職員におすすめの本を聞き、図書委員がタブレットでまとめスライドとして学校図書館で流した。



〈読書の記録〉



〈スライドの一例〉

#### オ 地域や企業との連携

##### ① 町の図書館の本を配置

町の図書館から中学生におすすめの本をお借りし、学校図書館に配置している。

##### ② 講演会の実施

埼玉新聞社の方に来ていただき、活字に親しみ、活字の魅力を知り伝える力を学ぶ講演会を行った。

##### ③ ビブリオバトルの実施

埼玉県立松山女子高校の司書から読書の魅力についてお話をいただき、高校生が行うビブリオバトルに参加した。

##### ④ 選書会の実施

(株)図書館流通センターから中学生が興味を示しそうな本を持ってきてもらい、図書委員・希望する生徒・教職員で、一括購入したい本を選ぶ。



〈町の図書館の本〉



〈ビブリオバトル体験〉

## 3 成果と今後の課題

### (1) 成果

ア 生徒がたくさん本を読むようになった。

全校生徒の読書量は、12月末時点で2,215冊である。「朝読書が毎日あることで本をたくさん読むようになった。」という声が生徒や教員から挙がっている。休み時間に読書に親しむ姿も見られた。

イ 地域との連携で充実した活動ができた。

埼玉新聞社の方や県立高校の司書からのお話を聞いたり高校生のビブリオバトルにも参加したりして、生徒が活字や読書に親しみを感ずることができた。

### (2) 課題

ア 読書量の調査の仕方

読書していても本のページ数に差があり「読書の記録」に記録しなかった生徒もいるため、正確で実施しやすい記録の方法を考える。

イ 学校図書館の活性化

学校図書館を多くの生徒が利用したくなるような「広報物」の作成と本の購入を進める。

### (3) おわりに

生徒の読書に親しむ姿勢が今後も向上するよう、町教育委員会や町立図書館の指導を受け、国語科並びに他教科の協力も得ながら取組を行いたい。